

きらり 通信

平成30年1月26日（金）発行 第29号

福島県立須賀川支援学校

tel: 0248-76-2511 fax: 0248-72-4729

ホームページ <http://www.sukagawa-sh.f.c.ed.jp>



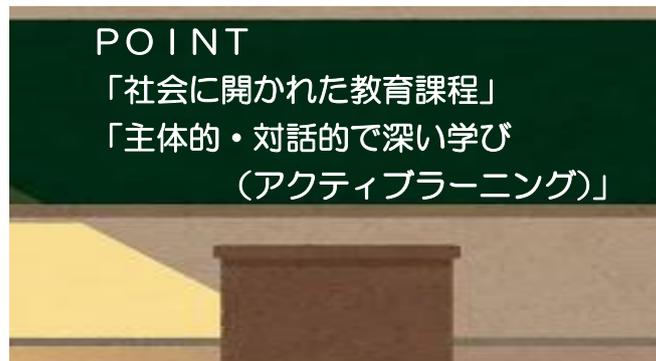
センター的機能の更なる充実を！！

教頭 大槻 孝昭

本年3月に公示された新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」や「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」などがキーワードになっています。必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく必要があります。

また、新学習指導要領（小中：総則、各教科等）では、「児童（生徒）の発達を支える指導の充実」も重要なポイントです。「特別支援学級や通級における指導における個別の指導計画の全員作成」、「各教科等における学習上の困難に応じた指導の工夫」などが明記され、幼稚園、小・中学校における特別支援教育の更なる充実が求められています。

したがって、これまで以上に「障がいのある児童（生徒）については特別支援学校等の助言又は援助」が求められるものと思われます。「小・中学校等の教員への支援」「相談や情報提供」「福祉、医療等関係機関との連絡・調整」など、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、「きらり」を中心に学校全体での取組を進めていきたいと考えています。



岩瀬教育研究協議会の御報告



今年度より、須賀川支援学校に勤める教職員が岩瀬教育研究協議会のメンバーとして温かく迎えていただきました。多くの先生方の御理解、御尽力を頂き、会則を改正していただいたの参加となりました。

地域の皆様と一緒に特別支援教育について研究を進めていけますことを大変うれしく思います。

さて、中でも11月に行われました「特別支援教育部会」では、複式学級における「算数科」の授業をVTRにて参観させていただきました。会では、パネラー（本校校長は、パネラーの一人として参加）の方々と熱いディスカッションをするというとても画期的な方法で進められました。参加者数は、70名を超え、現在担任している子ども達を考えながら、グループで協議をし、それぞれ発表をする場面がありました。

「授業のはじまりはどうだったのだろうか？」「子ども達それぞれの発達段階に応じた、算数科のねらいを達成するための教材が準備されているのは、大変勉強になった」「支援員さんとの連携について参考になった」など多くの意見が出されました。

特別支援学級の授業参観ができる機会が限られているため、参加者からは「とても良かったです」という感想が多く聞かれました。



さて、今回参加させていただき、改めて地域の先生方の思いや考えに寄り添った活動をしていくことが大切だと感じました。「きらり通信」の発行や今年度多くの先生方に参加して頂いた「教育相談週間」、「講演会・情報交換会」など魅力ある企画を今後も実施していきたいと思っております。

御案内は、各学校、コーディネーター様宛にしております。今後も「地域支援センターきらり」を御活用下さい。

入院児童生徒の学習支援体制整備事業について

福島県では、28年度から29年度にわたって、病院に長期入院している児童生徒に対して、その在籍している小・中学校、高等学校や関係機関が連携を図りながら、学習を保証するための支援体制づくりに取り組んでいます。

今年度は、「病気の子どもや入院している子どもへの支援ガイド」を作成し、各市町村の教育委員会、小中学校、県立高等学校、各保健福祉事務所に配布しました。

本校にも、小中学校や高等学校から入院している子どもたちの支援について問い合わせがありました。病気やケガにより、突然日常生活が変化してしまったことに対する不安を抱える子ども達に寄り添いながら入院している子どもと在籍している学校をつないでいく働きかけを行いました。それによって、治療に対しての気持ちが前向きになったり、学校生活や学習活動に対する不安を軽減することができたりしました。

入院することになった、入院が長期化するなどの状況で不安なことがありましたら、いつでもご連絡ください。

リーフレットをご覧になりたいときも、ご連絡ください。



リーフレット

おすすめの本

かがわ出版

『体験しながら育もう

実行機能能力ステップアップ

～自立に向けてのアイテム10』

編著：NPOフトゥーロLD発達相談センターかながわ

自立に向けて必要な機能を10の機能に整理し、それらの機能をどう機能させていくかをワークシートで取り組めるようにまとめられています。子どもの抱える課題に対して、どのように考え、行動していけばよいのかを支援していくために参考になるかと思われます。

いかがでしょうか？



Web 紹介



「国立障害者情報・支援センター」

本人・家族・支援者、発達障がいについて知りたい方に対して、発達障がいに関する情報をわかりやすく発信しています。

「気づき」や「対応（どうする?）」についてやライフステージごとの情報などを分類してさまざまな情報が提供されています。ぜひ、一度ご覧になってみてはいかがでしょうか？

ホームページアドレス

「<http://www.rehab.go.jp/ddis/>」

